

単元名 「そだてよう、さかせよう I」

<本時の課題>
あさがおももっとなかよしくなるために、あさがおのことをしよう。

本時は、全11時間予定の8時間目。
前時には、生長してきたあさがおの様子を形、大きさ、数などの視点をもって観察し、気付いたことを言葉で表現する活動を行っている。

<授業の視点>
あさがおの世話の仕方を考えるために動作化を取り入れたことは、あさがおの生長への思いや願いを深めるために有効であったか。

♪ キ〜ンコ〜ンカ〜ンコ〜ン



毎日水をあげたりしてあさがおさんとなかよくなれましたか？
今日のお勉強でもっとなかよしくなりましょう。

<であう>

これは、何をしているところですか？
どうしてこのような世話をするのですか？



[手だて①]
今までしてきた世話について振り返り世話の仕方を意識できるよう、
写真を提示した。

たねをまいて、つちをかけたよ。



はやくめがでてほしいからだよ。

ひりょうをあげたよ。



あさがおさんのえいようだよ。

やさしくかけているよ。

おおきくなってほしいからだよ。

みずやりをするよ。



つちにみずをあげるよ。

はやくはながさいてほしいからだよ。

ねっこにあげてるんだよ。



<はたらきかける>

これから、あさがおさんにどうなってほしいですか？



[手だて②]

花が咲いたあさがおの写真や生長の違う2種類の鉢を提示し、大きく育てるための世話の仕方に目を向けさせた。



もっとおおき
くなってほし
いです。

たくさんはな
がさいてほし
いです。

せんせいのあ
さがおはちい
さいね。

どうすれば、
おおきくなる
だろう。

みんなのあさがおも、先生のあさがおも、これから大きくなっていくのに、何をしてほしいと思っているのでしょうか。



あさがおさんになってかんがえてみましょう。



[手だて③]

あさがおが生長していくのに必要な世話の仕方に気付かせるために、あさがおの気持ちになって動作化する活動を行った。

準備：動作化用の鉢、ペットボトルじょうろ、インタビュー用マイク、つるに見立てた曲尺

[手だて④]

あさがおの気持ちを言葉で表現させていくために、マイクを向けてインタビューする活動を取り入れた。

あさがおさん、どうですか？

おみずが
ほしいよ。



おいしいよ。
ありがとう。



おおきくなっ
てうれしいよ。

ごはんがほし
いよ。

もっと大きくなって、のびてきましたよ。
あさがおさん、どうですか？



つるがおれ
ちゃうよ。



きついよ。
せまいよ。

これから、あさがおさんに、どんなお世話をしたいらいいでしょうか？

手だて⑤

児童のつぶやきや発言を生かして板書にまとめながら、これからの世話について考えさせた。

まいにち、みずを
あげます。

ひりょうをあげ
ます。

あついひは、いっ
ぱいあげるよ。

あさがおさんの
えいようだよ。

ひろくします。

ぼうをたてます。

ねっこがきれな
いように、やさし
くつつします。

「しちゅう」って
いうんだよ。

どんなお世話をしたらいいか、たくさん考えられましたね。



<ふいかえる>

これから、どんなお世話をしていきたいですか？

手だて⑥

児童が発表しやすいように、「わたしは(ぼくは)、～おせわをしたいです。」の文型を提示した。「このお世話をしてみたい。」という気持ちを一人一人にもたせるために、最後に挙手で確認した。

ぼくは、ひりょうをあげる
おせわをしたいです。

わたしは、ひろくする
おせわをしたいです。





支柱を立てるお世話をした人？

はい。



あさがおさんがもっとおおきくなって、みんなともとなかよしになれるように、これからもお世話をつづけていきましょう。

キ〜ンコ〜ンカ〜ンコ〜ン ♪

☆板書



授業を終えて

《成果》

- 導入での資料提示(世話をしている写真)が児童の意識に合っていた。
- 授業の中で、児童のつぶやきを自然に生かし、無理なく授業が流れた。
- あさがおの気持ちを考え、世話の仕方、自分がやりたい世話を考えていく授業構成は、児童の意識の流れに沿っていた。

《課題》

- 全員があさがおの気持ちになりきれいでなかった。動作化のさせ方を工夫する必要がある。
- 児童から出された考えに対して、教師がうまく切り返しをして一緒に考えていくことにより、さらに気づきが深まったのではないかな。